

9 体操競技実施要項

- 1 期 日**
- 令和8年5月29日(金) 開始式 新体操監督会議 新体操公式練習
- 令和8年5月30日(土) 新体操団体競技 新体操個人競技
体操競技監督会議 体操競技フリー練習
- 令和8年5月31日(日) 体操競技審判会議
体操競技少年の部(団体総合、個人総合、種目別)
体操競技成年の部(個人総合、種目別)
- 令和8年5月23日(土) トランポリン競技開始式
トランポリン監督会議・審判会議
トランポリン競技
- 2 会 場**
- (体操競技・新体操) INPEX 酒田アリーナ(国体記念体育館)
- (トランポリン競技) 南陽市民体育館
- 3 競技区分** 第80回国民スポーツ大会山形県予選会兼第53回東北総合スポーツ大会山形県予選会
- 4 競技規定**
- (1) (公財)日本体操協会制定競技規則による。
本大会特別規則は審判会議・監督会議を経て適用する。
- (2) 各校の監督を審判員に委嘱することがある。
- (3) トランポリン競技の審判員については、協会派遣とする。
- 5 競技方法**
- (1) 体操競技
- ① チームの編成
- (ア) 成年・少年男女とも個人選手権とするが、少年男女においては各種目のベスト 3 によりチーム選手権も併用する。選手 8 名まででチームを編成(1 チーム 3 名でも可)し、他に補欠 2 名を認める(申込書に明記のこと)。2 名以下の場合個人として競技に参加することができる。なお、申込書の 1 から 4 までの選手は 2 班に、5 以降の選手は 1 班に編成する。参加者が少ない場合は 1 班にまとめて班編成することもある。その場合は細部連絡にて通達する。
- (イ) 少年男女とも 1 登録団体より出場できる選手は 10 名(チーム 8 名、補欠 2 名)までとする。
また、男女ともマネージャー 1 名を申し込むことができる。
- (ウ) チーム選手権は、1 班から 2 班、2 班から 1 班へ入れ替えることができる。
- ② 競技方法
- (ア) 成年男子、成年女子(個人総合及び種目別)
- 男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の 6 種目の自由演技を行う。
個人総合成績順位は、6 種目の自由演技の得点総合計によって決める。種目別成績順位は、各種目別の得点によって決める。

女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。
個人総合成績順位は、4種目の自由演技の得点総合計によって決める。種目別成績順位は、各種目別の得点によって決める。

(イ)少年男子、少年女子(個人総合・種目別並びに団体総合)

(a)男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。

なお、ルールについては全国高等学校適用規則を適用する。

女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。

なお、ルールについては全国高等学校適用規則を適用する。

(b)個人総合及び種目別

男子の個人総合成績順位は、6演技の得点合計によって決める。

女子の個人総合成績順位は、4演技の得点合計によって決める。

種目別成績順位は、棄権種目のある選手の得点も有効とする。

(c)団体総合

団体総合成績順位は、各チームの男子6種目、女子4種目のベスト3の得点総合計によって決める。

(注)同点同位が出た場合の順位決定は、(公財)日本体操協会の競技規則による。

(2)新体操少年男子

① 競技内容 団体競技(徒手)

個人競技(スティック・リング・ロープ・クラブ)

成績順位は、以下の合計得点によって決める。

団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/4)の合計

② 競技方法

団体競技の演技者は5名とする。

個人競技の演技者として、団体5名のうちから4名だけが出場できる。

(3)新体操少年女子

① 競技内容 団体競技 5ボール(ファイブボール)

個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボン)

成績順位は、以下の合計得点によって決める。

団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/4)の合計

② 競技方法

団体競技の演技者は5名とする。

個人競技の演技者として、団体5名のうちから4名だけが出場できる。

(注)同点同位が出た場合の順位決定は、(公財)日本体操協会の競技規則による。

(4) トランポリン競技

① 競技方法(男女共通)

(a) 男女とも成年・少年はそれぞれ共通とし、個人競技で行う。

予選は第1自由演技と第2自由演技を行い、2つの合計得点により予選順位を決定する。
予選順位の12位までの選手が決勝に進出できる。

(b) 第1自由演技について

演技得点(Eスコア)、跳躍時間点(Tスコア)及び移動減点(Hスコア)の3つの合計が
第1自由得点とする。

【特別要求】

演技は10種目の異なった種目で構成し、「前方の270度以上の宙返り」と「後方の270度以上の宙返り」をそれぞれ1回行わなければならない。これらの要求種目が欠如した場合は、合計得点から2.0の減点がなされる。

(c) 第2自由演技及び決勝自由演技について

10種目を自由に構成し、演技得点(Eスコア)、難度点(Dスコア)、跳躍時間点(Tスコア)及び移動減点(Hスコア)の4つの合計が第2自由得点とする。また、決勝自由演技も同様、10種目を自由に構成し、4つの項目の合計が決勝の得点となる。

(d) 器具

国際体操連盟公認トランポリン器具とする。選手の安全を守るという観点からダブルスポッター制を義務化する。チームの監督を含めた2名を準備して対応する。

6 参加資格

- (1) 山形県体操協会に本年度の登録を完了した者とする。
- (2) 本大会総則の7「参加資格及び選手の年齢基準等」の条件を満たすもの。山形県の選手として疑問がある場合は、事務局に問い合わせること。
- (3) 中学生の体操競技(少年)・新体操及びトランポリン競技に参加できる選手は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までの間に生まれた中学3年生とする。但し、学校長及び保護者の承認を得た者とし、また、競技種別などを重複して出場することはできない。
- (4) 国民スポーツ大会に参加する選手は、本県大会に参加しこれを通過した者であること。
- (5) 参加資格に疑義があるときには、(公財)山形県スポーツ協会及び当該競技団体が審査し決定する。

7 その他

- (1) 選手は健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。
- (2) 健康保険証を必ず持参すること。
- (3) メンバーの最終決定は、各種別の監督会議で決定する。
- (4) 競技日程は後日事務局より連絡する。
- (5) 会場でのゴミの分別収集にご協力下さい。(持ち帰りを原則とする)
- (6) 学校の顧問・チーム責任者より、本人及び保護者に対し、「大会プログラム作成及び成績上位者の報道発表並びに(公財)山形県スポーツ協会・山形県体操協会ホームページへの記載について」口頭による同意を得ること。
- (7) 監督及び選手は障害・損害賠償責任保険に必ず加入することを条件とする。

8 表彰並びに選考

- (1)各種別及び種目・チーム選手権の1位から3位までに賞状を授与する。
- (2)東北総合スポーツ大会及び国民スポーツ大会への派遣選手・監督・コーチは山形県体操協会選考基準(別紙)に添って、各技術委員会が推薦し、選考委員会で最終決定する。
- (4)選考委員会は、山形県体操協会会長・理事長・強化部長・各委員長・事務局長及び本大会各審判長をもって構成する。

9 申込み

(1)参加申込み

- ①別添参加申込書により2部作成のうえ出場認知書(少年のみ)を添え、下記あて送付すること。
- (2)申込み締め切り日 (参加・振込) 令和8年5月8日(金)必着
- (3)申込先

〒999-3764 東根市神町東1丁目10-43
山形県体操協会 安達 優美 宛
TEL:090-7065-2494 FAX:0237-47-1543
E-mail:yamagatagym1952@yahoo.co.jp

(4)参加料は下記に振込とする。

振込先 : 荘内銀行 酒田中央支店(130)
口座番号 : 普通預金 1090607
名義人 : 山形県体操協会 会長 齋藤 雅志

10 参加料等 本大会に参加する監督、選手は次の参加料を納付すること。

- (1)成年1名に付1,500円(オリンピック募金 150 円、スポーツ振興募金 200 円を含む)
- (2)少年1名に付1,000円(オリンピック募金 70 円、スポーツ振興募金 200 円を含む)
- (3)マネージャー及び補欠は参加料を必要としない。
- (4)トランポリン選手は1名に付1,500円(オリンピック募金 250 円、スポーツ振興募金 100 円を含む)
- (5)少年の種別の監督は少年扱いとする(1,000円)。

ただし、少年の監督と成年の選手を同一競技内で兼ねる場合は成年選手扱いとする。

(内規)

・選考基準についての特例

不慮の事故発生で大会が開催できなかった場合の選考基準は、別途山形県体操協会の選考基準(別紙)による選手選考とする。